

2025（令和7）年度 広域単位互換科目 平和と人権A（ヒロシマと国際平和）シラバス

*科目 No.	2003
---------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島市立大学		■オンライン（同時）			
	2. 正式科目名 副題	平和と人権A （ヒロシマと国際平和）			配当年次	1・2年次
					受入学年	
学問分野	番号	42	名称	国際関係		
3. 担当教員名	広島平和研究所 教授 永井 均 ・ 准教授 四條知恵					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2025年 4月 14日（月）～ 2025年 8月 4日（月） 月曜日 13:00 ～ 14:30					
7. 基礎知識の有無	・「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数	20人		9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>広島、長崎の原爆体験を基礎から応用まで様々な視点と教材で学習し、平和を学ぶことの意味を考える。</p> <p>〔講義内容（案）〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 なぜ、広島と長崎だったのか？</li> <li>2 広島の前爆被害</li> <li>3 長崎の前爆被害</li> <li>4 広島はどのように「平和記念都市」になったのか？</li> <li>5 被爆の思いを七宝焼きに託して（被爆証言）</li> <li>6 被爆体験を語り継ぐということ（伝承者による講話）</li> <li>7 原爆が人体と心にもたらしたもの</li> <li>8 「原爆文学」を読む</li> <li>9 原爆投下の法的問題</li> <li>10 広島平和記念資料館の仕事</li> <li>11 被爆者に家を建てたアメリカ人</li> <li>12 英語で広島を案内するヒント</li> <li>13 世界に関心を向け、貢献しよう！</li> <li>14 デザインやアートから「ヒロシマ」を見直す</li> <li>15 被爆の記憶を継承するために</li> </ol>					
11. 試験・評価方法	平常点と定期試験により総合的に評価する					
12. 別途負担費用	なし					
13. その他特記事項	<p>受講方法は別途連絡します。</p> <p>4/14日（月）は資料提示の場合があります。</p>					